



⑥

### 1章 潤す

## 商品化

山々に囲まれ多くの水源を持つ本県はミネラルウォーターの産地でもある。湧き出る清流は商品化され、風味豊かな群馬の水が全国に届けられている。

ペットボトルに詰められた水が次々とラインを駆け抜ける。みなかみ町政所にある飲料製造のハルナプロデュース(高崎市足門町)自社工場。ここから年間300万ケース(1ケース・2リットル入り6本)のミネラルウォーターが出荷されている。メインは他社ブランドでの製造で、扱う商品は50

種類にも上る。ほとんどが敷地内の井戸からくみ上げた谷川山系の水を原料にしている。

25年以上安定して供給されてきたミネラルバランス

「群馬は重要な選択肢の一つになっていく。大手飲料メーカー、キリンビバレッジ(東京都)マーケテ

る時もおいしい水の代名詞として「谷川」の言葉を入れてみてはと提案することも多いという。「自社の水を通して群馬の認知度を高めたい」と力を込める。

「群馬は重要な選択肢の一つになっていく。大手飲料メーカー、キリンビバレッジ(東京都)マーケテ

# 飲みやすさに自信

が整った軟水で、小池賢司執行役員・製造本部長は「品質には自信がある」と胸を張る。取引先と新たなネーミングについて議論す

イング部の田代義法主任は本県の水に可能性を感じている。嬭恋村の水を利用して昨年リニューアル発売した通販限定商品「キリンの

を選んだ。静岡や岐阜での製造が中心だった同社にとって、採水地に本県を選んだのは初めてだ。

【又も】日本ミネラルウォーター協会(東京都)によると、昨年の県内生産量は8万9297キログラムで全国7位。前年から6割増え、シェアも1.9%から2.8%に上昇した。都道府県別では山梨が142万522キログラムでトップ、2位は静岡の53万7786キログラム。富士山ろくくの2県で全体の6割を占めている。

嬭恋銘水(同村干俣、豊田稔社長)が受託生産。長野県境に位置する四阿山の伏流水を地下250メートルからくみ上げる。マグネシウムが少ない「硬度19の超軟水」が特長で、味のまろやかさを維持する非加熱製造もこ

だわりだ。田代さんは「商品のヒットは群馬の他の採水地にも目を向けるきっかけになった」という。嬭恋銘水は大量生産で収益力を高めよう

と2年後をめどに工場を増設する予定。豊かな水資源を生かし、市場拡大につなげることができるか注目される。



県内の湧水は商品化され全国に出荷されている  
＝みなかみ町政所のハルナプロデュース工場